

[卒業生からの推薦文 (抜粋)]

2023 鹿児島大会ご参加の皆様へ

知覧特攻平和会館への慰霊訪問をおすすめします

学徒出陣 80 周年 企画展開催中

## 「学 鷲 の 軌 跡」

「特別操縦見習士官」の隊員にスポットを当てる

我ら上智大学出身の特別操縦見習士官

三人が記録されています。

(知覧には二人展示。河野氏は東京上空で戦死)

\* 石原正嘉氏 (1941.4 専商入学) 「一期生」

1945.4.27 嘉手納沖にて突入戦死 誠第 33 飛行隊

平和会館玄関先に立っている航空兵の後ろに

お兄さん達が建立した石灯籠があります

\* 河野 敬 (タカシ) (1941.4 予科入学) 「一期生」

1945.4.7 東京上空にて B29 への体当たりで戦死

\* 片山悦次氏 (1943.4 専商入学) 「二期生」

1945.4.8 沖縄方面へ特攻出撃戦死 第 68 振武隊

# 学鷲の軌跡

— 学徒出陣 80年 —

2023年

7月22日(土) ~ 10月31日(火)

会場 知覧特攻平和会館 (企画展示室)



開館時間

9時~17時(入館は16時30分まで)  
年中無休(※10月29日は最終入館12時、14時閉館)

入館料

高校生以上500円(団体400円) 小中学生300円(団体240円)



知覧特攻平和会館

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡17881番地  
TEL 0993-83-2525 FAX 0993-83-4859

# 学徒出陣から80年

戦中、満20歳を迎える男性は徴兵検査を受け、兵役に服する義務がありました。その中で、大学や専門学校など高等教育機関に在籍していた学徒は26歳まで徴兵が延期される特権が与えられていました。しかし、昭和18年10月、戦争の長期化と戦況の悪化により徴兵猶予が停止され、いわゆる学徒出陣により軍に入営していきました。

陸軍では学徒らを対象にした特別操縦見習士官の制度を設け、劣勢を挽回すべく航空要員の養成を急ぎました。昭和18年10月入校の1期生から4期生まで、およそ8,000名が航空の道に進みました。

沖繩戦では陸軍の特攻隊員1,036名が特攻戦死されていますが、そのうち273名が特別操縦見習士官の出身です。

本企画展では、彼らの遺筆や関連資料の展示、関係者の証言映像、時代背景と訓練、特攻隊員になる経緯を紹介します。学徒出陣から80年の節目に、学鷲と呼ばれた彼らの軌跡をたどっていただき特攻の史実をより深く知っていただけたら幸いです。

## 入営

### 第五十五振武隊 大岩 泰雄 大尉

【手記】 (昭和18年10月2日記) (昭和20年5月28日 知覧から出陣 21歳 特操2期 神戸経済専門学校) ※抜粋

入営を前にして昭和十八年十月二日記す  
 歴史のなものである、無の概念について  
 吾々学徒は遂に銃を執つて立つ可き秋が来た。吾々の前には切實な現実が迫つて来た。興奮の余り思考がまとまらない。この決定的な事象が我々学徒に与へた精神的影響は明らかに大なるものがある。本より死は覚悟の前である。死に直面して何を求める可きか、前線に戦ふ将兵は飛交ふ弾丸の下をくぐつて死生観を捉ふと云ふ。吾々は死生観を哲學せねばならぬ。今更何もドイツ哲學流の典型的考察とか分析的な研究など成す必要もなく又成す余裕も有るまい。  
 我には眞に人生の意義を根本的に体験せんとしてゐる、大いなる理念の爲に死せねばならない。

## 志願

### 第五十六振武隊 金子 範夫 大尉

【日記】 (昭和20年3月6日記) (昭和20年5月6日 知覧から出陣 22歳 特操2期 明治大学) ※抜粋

五時半起床 拂曉飛行をなす 朝の空は氣持よし、十五時より西隊合同にて部隊長より特別攻撃隊についての話あり 我等もその策を擔ふに決定する 特別攻撃隊勿論全員熱望す。カ、パイ 覚悟は既に決つてゐる 今更未練は毛頭ない。さっぱりした氣持である。句を出すとその名のもとに行動する我等であるが、皆朗かにして静かだ。  
 夜、任官祝が柳屋にてあり 欠し振りにて充分飲んで歸いた。暴れはしなかつた。来るべき日敵空母の胴腹に喰ひ込めば良いのだ。  
 覚悟は既に決つてゐる 今更未練は毛頭ない。さっぱりした氣持である。句を出すとその名のもとに行動する我等であるが、皆朗かにして静かだ。



特操1期生(昭和18年10月～昭和19年3月 知覧教育隊)



特操1期生(昭和18年10月～昭和19年3月 知覧教育隊)



出撃前、地図を広げて作戦を練る第165振武隊員(昭和20年6月 知覧)

## 出撃

### 第五十六振武隊 上原 良司 大尉

【所感】 (昭和20年5月10日記) (昭和20年5月11日 知覧から出陣 22歳 特操2期 慶應義塾大学) ※抜粋

飛行機に乗れば器械に過ぎぬのですけれど、一旦下りればやはり人間ですから、そこには感情もあり熱情も動きます。愛する恋人に死なれた時自分も一緒に精神的には死んで居りました。天国に待ちある人、天国に於て彼女と会へると思ふと死は天国に行く途中でしかありませんから何でもありません。  
 明日は出撃です。過激に巨り、勿論発表すべき事ではありませんでしたが、偽はらぬ心境は以上述べた如くです。何も系統たす思つた儘を雑然と並べた事を許して下さい。明日は自由主義者が一人この世から去つて行きます。彼の後姿は淋しいですが、心中満足一杯です。云ひたい事を云ひたいだけ云ひました無礼を御許して下さい。ではこの辺で、出撃の前夜記す。

## 講座

(約30分)

## ギャラリートーク

(約30分)

「企画展の内容について詳しく解説します」  
 日時：2023年7月29日(土)、8月12日(土)、8月26日(土)  
 10:30～ / 14:30～  
 会場：知覧特攻平和会館 (講話室)

「展示の見どころを企画展示室で紹介します」  
 日時：2023年8月5日(土)、9月9日(土)、10月7日(土)  
 10:30～ / 14:30～  
 会場：知覧特攻平和会館 (企画展示室)

### 関連イベント情報

学芸員による  
 「講座」「ギャラリートーク」

参加費無料  
 (入館料のみでご参加できます)  
 事前申し込み不要